

高森町議会だより

PARLIAMENTARY INFORMATION

絆



天下御免の傾奇者
いざ、熊本城にて傾き舞う!!



舞台前田慶次

かぶき旅

～肥後の虎・加藤清正～編

6月定例会	2
町政を問う(一般質問)	6
常任委員会報告	8
第3回臨時会	10
町民の声	11



令和3年8月発行
No.82
6月定例会

議会人事報告

令和3年第4回臨時会において後藤三治議長が辞職されたことに伴い、7月14日付けで佐伯金也氏が議長に就任しました。



新議長
佐伯 金也氏

令和3年 第2回6月定例会

(令和3年6月10日開会)

人事案件

高森町固定資産評価審査委員会委員2名が選任されました。

同意 第2号



山村 俊澄氏
(高森 下町)

任期 令和3年5月12日～令和6年5月11日

同意 第3号



甲斐 末久氏
(津留2 永野)

任期 令和3年5月12日～令和4年3月22日

一般会計補正予算専決(第3号)

413万7千円を追加

予算総額 54億6,362万5千円

※新型コロナウイルス対策費として営業時間短縮要請協力金負担金

一般会計補正予算(第4号)

1億990万2千円を追加

予算総額 55億7,352万7千円

国・県補助活用事業

有害鳥獣駆除助成金



高森町緊急捕獲等計画により、有害獣の駆除を推進し、農作物及び樹木への被害軽減対策を実施する。

事業費	補助額	一般財源
2,994万円	実績に応じて決定	実績に応じて決定

	国	県	町	合計
シカ	7,000円	1,000円	4,000円	12,000円
イノシシ(成獣)	7,000円		5,000円	12,000円
イノシシ(幼獣)	1,000円		11,000円	12,000円
サル		11,000円	19,000円	30,000円

子育て世帯生活支援特別給付金

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対しその実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、食費などによる支出増加の影響を勘案し、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する。

【支給対象者及び支給額】

- ひとり親世帯以外の住民税非課税の子育て世帯
児童1人あたり一律5万円

住民税非課税世帯とは

生計を同じくしている世帯人員のすべてが住民税非課税である世帯
住民税における非課税対象者の条件

- ①生活保護受給者
- ②前年の合計所得額が135万円以下の未成年や障がい者、寡婦、寡夫
- ③前年の合計所得額が、条例で定められた額面以下の方



事業費	補助額	一般財源
535万円	535万円	0円

ふるさと納税活用事業

町営学生寮整備事業改修設計

町内にある「旧高森高校学生寮」の土地及び建物購入が完了したため、町が運営する学生寮を新たに整備するための改修設計業務を実施する。

これにより

- ①新たな時代に求められる人材育成
- ②町外、県外からの生徒受け入れの環境構築
- ③空き家等の再生利活用が期待出来る。



事業費	ふるさと応援寄付金	町負担
1,646万円	1,646万円	0円

その他事業

大戸ノ口・本河原線道路舗装整備工事

大戸ノ口・本河原線の未改良区間（延長約1.8km）は、大型車両等の交通により舗装が劣化している状態であり、舗装修繕が必要な状況である。この状況を踏まえ今回は、*オーバーレイのみで実施する。

事業費	辺地債	一般財源
4,800万円	4,800万円	0円

※オーバーレイとは

既存の舗装の上に新たな舗装を被せること



現地調査



委員長説明



道路現況

令和3年6月定例会 主な質疑応答

承認第9号

令和3年度高森町一般会計補
正予算専決について

質

〔佐伯金也議員〕

時短営業協力金の算定基準となる売上はいつが基準となっているか。

答

〔政策推進課長〕

前年又は前々年の確定申告書の控え等に記載された時短要請月の売上が基準となっている。1日あたりの給付額は1日の売上平均が83,000円以下の事業所は25,000円でそれ以上については売金額に応じて1日の売上の3割が給付額となる（上限75,000円）。

議案第36号

令和3年度高森町一般会計補
正予算について

質

〔後藤巖議員〕

学生寮の入居要件について、中学生か？高校生か？また、コアミックスなどの社会人も対象なのか？

答

〔町長〕

プロジェクトチームを立ち上げてこれから詳細は詰めていく。コアミックスなどの社会人を対象にするか否かはすみ分けをする必要がある。小学校・中学校はもちろん、高森高校に入学できるための環境づくりを、行政が主導的な立場で推し進めるべきである。また、今回の事業はふるさと応援寄付金を財源としたい。



町営学生寮予定地

質

〔立山広滋議員〕

現在の新型コロナウイルスワクチン接種の状況は。

答

〔住民福祉課長〕

5月24日から特設会場での集団接種を行っており、6月10日現在約600名が1回目の接種を終えている。また、高齢者等施設の入所者及び従事者については約450名が接種を完了。



集団接種特設会場

質

〔後藤巖議員〕

企業版ふるさと納税が歳入で予算計上されている。何に對して寄付があつたのかを教えてください。

答

〔総務課長補佐〕

プロジェクトを2件立上げ寄付を募集しており、南鉄の創造的復興プロジェクトの高森駅周辺再開発、JRへの接続強化について寄付があつている。もう一つは高森町ICT教育に関するプロジェクト。寄付が2件20万円寄せられている。返礼品については、記念レールやトロッコ列車に乗車して応援してもらおうような取組みを働きかけている。4月から募集サイトを活用し、取組みを強化している。まだ6月なので、企業の決算時期に合わせてプロモーションを仕掛けたい。



トロッコ列車

一般質問

後藤 巖 議員

4 人の熱弁

芹口 誓彰 議員



今後の公共施設のあり方

公共施設のあり方検討協議会の開催をする

町長 議会や住民の総意として答えを出して欲しい

質問 高森町公共施設あり方検討協議会の前回実施した協議内容と今後の開催予定は。

環境生活課長 この協議会は平成28年7月に設置され、平成28年度に4回、平成29年度に4回開催し公共施設全般を協議。主に高森温泉館の入浴施設のあり方、奥阿蘇物産館・特産品加工場等について検討を行った。平成30年度から令和2年度は開催しておらず、本年度中に高森町公共施設等管理総合計画の見直しを行うにあたり、2回の開催を予定している。

質問 公共施設のうち、町民体育館のこれまでのいきさつ・利用状況について尋ねる。

教育委員会事務局長 竣工は平成9年、今年で24年目になる。総工費は約10億円。利用者は最近10年の平均で約1万1千人。

収入は平成23年度は200万円を超えていたが年々減少し、平成27年度より年間100万円を切っている状況である。

質問 町民体育館の今後の利活用は。

町長 前提として、維持管理の負担が重荷になるような施設を外部企業などの民間が必要とするのか、需要があるのかを考える必要がある。高森温泉館について、協議会で最終的に町長の政治判断に任せると答申があり、明確に答えを出したが、その時の判断をひっくり返すような事態も発生した。今後の利活用については議会でも十分協議をし、町民の方々の意見や要望も取り込み、総意として判断をして答えを示していただければと思っている。

森林整備について

森林経営管理制度の取り組みは

農林政策課長 森林集約化協議会で整備していく



質問 山林の伐採の際、山腹にジグザグに作られた伐出作業路が、山腹崩壊を誘発する危険性が指摘されている。伐採届の提出時に、集落や公道・河川の箇所で作られた作業路により発生した土砂や林地残材が流出し、災害が発生する恐れがある箇所については、伐採者に対して災害防止のための措置や指導助言等が行われているのか伺う。

農林政策課長 伐採届の際に、災害防止のための指導助言を行うことの規定はないが、山林伐採の立地次第では危険度が増す可能性もある中で、口頭で注意喚起を行っている。

質問 不在森林所有者の経営放棄や、所有山林を管理経営する意欲が減退している所有者の山林対策として森林経営管理制度があるが、制度の概要と今後の取り組みについて伺う。

農林政策課長 維持管理が困難な森林について、意欲あ

る林業経営者に施業・経営委託を行い、森林の施業の集約化と経営規模の拡大を図る制度である。高森町森林集約化協議会で意向調査などを行い整備していく。

質問 鹿の食害や剥皮被害が拡大しているが、対策について伺う。

農林政策課長 コスト面からも鹿ネットが適当と考えられ普及に努める。同時に有害獣対策にも取り組む。

質問 ハザードマップで指定されている地域周辺で災害の危険性がある放置山林等があれば、災害を未然に防止するため、効果的な山林整備の財源に「森林環境譲与税」や「熊本県水と緑の森づくり税」の活用は出来ないのか。

農林政策課長 森林の公益性の発揮が税の目的であり、活用できないと認識している。森林経営管理制度を活用した取り組みであれば可能ではないかと考える。

町政を問う

ふるさと納税返礼品

高価値化した農産物を返礼品に採用しては



町長 納税者のニーズに応える返礼品を選択する

質問 ふるさと納税返礼品が担う役割と上限の設定金額は。

推進課長 本町特産品のPRが出来るとともに、

地方の事業者が返礼品を通じて、マーケティング能力を磨くなど商品力の向上に寄与している。上限の設定金額については、寄付金額に対して3割以内と定められている。

質問 『高森版モンドセレクトレクシオン』(仮称)を導入し、返礼品の多種・高価値化による寄付額の上積み、農家の所得向上へと繋がる仕組みを構築しては。

林課長 農産物の付加価値

をつける案については、総論部分では実効性のある良い意見だと思ふ。農産物出荷の選択肢や稼ぐ力を増すことの視点から、**【GAP認証】**を取得するほうがより現実的だと考える。付加価値をつけるため、町の予

算を注ぎ込んでも十分に取組む価値がある制度だと認識している。ふるさと納税制度には事業者登録が必要となるため、農業者の方々にも実践していただきたい。

町長 ふるさと納税制度は自治体が稼ぐツールであり、町の余力ある財政に寄与している。返礼品は安価で日常的に飲食・使用する物が人気で、納税者のニーズに

応える返礼品を選択する。農産物のブランド化もやるべきだが、商品開発や販売戦略などを担う地域商社を育成していきたい。

※GAP認証とは

農業において食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組み。認証されると国内外を問わず大手取引先等との販路拡大が見込まれ、所得向上や安定した農業経営に繋がる。

町長政策集の進捗状況

施策総数と実施状況・達成状況



副町長 137の政策で186の事業に取り組んでいる

質問 町長政策集の掲載施策とその実施状況や達成状況は。

副町長 137の政策で、186の事業に取り組む。政策集は6つの挑戦項目から構成されている。

挑戦1 観光立町を実現するための町づくり。南鉄高森駅周辺再開発事業を進め、今年度から工事を着工する。令和5年夏に予定している全線再開後を見据えた町づくりが目に見える形で始まる。

挑戦2 町の情報化を基盤とする町づくり。防災行政無線のデジタル化工事が完了。継続して、TPCによる情報の共有・共感に対する取組みを、教育に特化したサブチャネルの開設。番組内容の充実化も併せて実施する。

挑戦3 行財政改革を実現する町づくり。令和2年度は町長の陣頭指揮とトップセールスによるふるさと納税への取り組みが特に強化され、寄付実績が8.5億円を達成。町財政運営の負担

軽減とときめ細やかな住民サービスへの提供に効果を上げた。

挑戦4 地域産業が元気な町づくり。(株)コアミックスと連携協定を締結し、新産業や人流を地域へ創出する取組みが始まる。O96K熊本歌劇団の活動拠点化や、テレワーク施設計画など新たなビジネスへの展開が期待される。

挑戦5 誇りと夢と元気を生み出す教育によるまちづくり。全国に先駆けた教育・学習体制を構築。

挑戦6 健康いきいき&子育て楽しい町づくり。町内の22箇所の公民館を介護予防拠点施設として改修を進め、地域挙げて健康づくりの環境を整備。

国のデジタル庁新設の動きの中、行政のDX・デジタルフォーメーション化移行を見据え、本町における取組強化への対策を課題として把握する。

津留智幸議員

4人の熱弁

立山広滋議員

総務文教常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

5月28日、総務文教常任委員4名で高森東学園義務教育学校の視察を行った。

教育長・学校から概要説明、授業風景の視察後に、教職員の先生と教育委員会事務局を交えた意見交換会を行った。先生からICT機器を駆使した授業の様子を詳しく説明していただき、これからの課題等について報告を受けた。

委員からは、義務教育学校に移行する際苦労した点や、高森中央学園との学力の差などについての質問があり、PTAとの意思疎通が普段より構築できていたことでスムーズに移行できた。顕著な学力の差は見られないが、小学6年生から中学1年生時へのスムーズな移行が利点の一つと説明を受けた。

これから高森中央小学校・高森中学校の小中一貫教育についての検討が始まると思うが、東学園でのこれまでの取り組み、得られた成果等を参考にしながら総務

文教常任委員会としても積極的に協議していきたい。

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「繰越明許費に係る繰越計算書の報告」「河原辺地に係る公共的施設の整備計画」「令和3年度高森町一般会計補正予算」については、担当者から詳細に説明を受け審議した。特に今回は補正予算の審議の際、事業の進捗状況についても説明を受け審議した。よって付託された議案すべて可とした。

【主な質疑事項】

◎繰越明許費に係る繰越計算書の報告について

質 キャッシュレス決済普及推進事業について、コンビニ収納は町内ではどの店舗が対象となるのか。

答 現在、収納業務代行業者の選定中であり店舗の決定はされていないが、公募条件として町内のファミリーマート、ローソンは対象となる。

◎令和3年度高森町一般会計補正予算

正予算

質 高森中学校のバックネット補修工事に至った経緯について伺う。

答 宮城県でバックネット倒壊により児童の死亡事故が発生したことから、国・県からの調査指示によって学校施設の安全確認をした結果、安全確保が必要であり補修工事を行うものである。



高森中学校のバックネット

質 タブレット図書館の取り組みについて伺う。

答 昨年10月から児童生徒の実証を開始し、5月末時点で約8,000冊の閲覧が確認されている。一般図書のみならず、水俣病問題等の資料を活用するなど学習面でも役立つ。

ICT教育の様々な報告の際には、必ずタブレット図書館とオンライン英会話の事例を示しているが、GIGAスクール構想に

よる1人1台のタブレットを推進していることもあり、各方面からタブレット図書館に関する質問や意見を多くいただいている。高森中央小学校が、全国新聞社のコンテストで最優秀賞を受賞。タブレット図書館の積極的な活用が評価されたものである。



総務文教視察

質 高スポのバスをスクールバスとして使用しているが現状について伺う。

答 町所有のバスが故障し、緊急的に高スポのバスを使用している。現在、バス購入の手続き中であり早く配備したい。

産業厚生常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

4月22日、5月11日常任委員会を開催し、現地確認調査及び所管各課と質疑応答を行った。主なものとして、人事異動に伴う課長以下職員の見直しや抱負、事業報告を受けた。

現地調査は町道大戸ノ口・本河原線の路面状況、幅員、景観の確認を行った。交通量の増大や大型車両の通行等により、アスファルトの剥がれが多数確認され、早急に補修する必要があると判断した。また、見通しが悪い区間もあり、注意看板設置状況も同時に確認している。補修については5月26日に建設課より具体的な方針の説明を受け、注意看板については4箇所に設置済みである報告を受けた。

今後の改良等については、地元議員が責任を持って住民の意見を集約し、行政とすり合わせしながら進めていくことを確認した。住民の関心の高い新型コクナワクチン接種会場は、稼働初日に視察をして受け入れ状況の確認

をした。当日接種ができない人が発生し、ワクチンが余る状況になった場合は、社会福祉協議会から接種をしていくことをルールとし決めていると説明を受けた。初めての集団接種であり、接種者が不安を感じる事例も多く予想されることから、しっかりとケアをお願いした。



集団接種会場内

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「繰越明許費に係る繰越計算書の報告について」「令和3年度高森町一般会計補正予算」「令和3年度各特別会計補正予算3件について」の担当者より説明を受け審議した結果、すべての議案を可とした。

【主な質疑事項】

◎繰越明許費に係る繰越計算書

の報告について

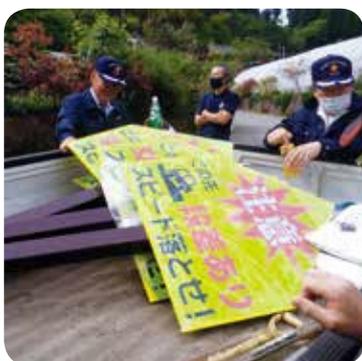
繰越明許費に計上されている事業内容について、各課より事業内容の聞き取りをしたが、一覧表などにより説明を受け間違いなく本年度中に完了するとの報告を受けた。

◎令和3年度各特別会計補正予算について

国保ヘルスアップ事業、人事異動に伴う給与の補正である報告を受けた。

質 町道大戸ノ口・本河原線道路舗装整備事業について。

答 本事業が、緊急かつ早急に対処しなくてはならないことは現地調査で確認したが、財源は全額を起債で賄うため、今後は極力補助金を活用し安易な借入れをしないように確認をした。



大戸ノ口・本河原線現地調査

質 有害鳥獣駆除助成金について。

答 本年度よりシカ12,000円(幼獣も含む)、サル30,000円(入価格を変更した。幼獣を断つことで生息数の変化を注意深く見たい。

質 スーパー中山間地域創生事業について。

答 地域資源を生かし調査を行い、加工品開発等を通じ地域の活性化を図り、3年から10年先を見据えた熊本県が採択した事業で、野尻・河原地区の生花等を使い事業化していく。

本事業展開と同時に新規就農者を呼び込むために、学生に興味を持たせ、耕作地を準備し当地で生産量の拡大を目指すことができれば、更なる地域の活性化につながるのではと意見が出された。



花を使った特産品

令和3年 第3回臨時会

(令和3年5月11日開会)

令和2年度一般会計補正予算専決(第16号)

1億6,499万5千円を追加

総額予算 75億7,084万3千円

主に地方交付税が確定し、補正する必要が生じたため。

令和3年度一般会計補正予算(第2号)

2,568万8千円を追加

総額予算 54億5,948万8千円

国・県補助活用事業

サイクルツーリズムによる南阿蘇鉄道沿線賑わいづくりプロジェクト事業

2023年の南阿蘇鉄道全線復旧に向け、マウンテンバイクのコース造成やレンタサイクルの設置、イベント等を実施し、高森町及び鉄道沿線地域の賑わいづくりを目指す。

事業費	補助額	起債借入額	交付税措置	実質負担額
579万円	289万円	80万円	123万円	167万円



レンタル自転車

エンタメ企業と連携したサテライトオフィス利活用推進プロジェクト事業

エンターテインメント業界と連携したまちづくりと地域の新産業創出のため、「アーティストビレッジ阿蘇096区」内にある既存のサテライトオフィスの利活用を推進することで、ウイズコロナ時代にも対応した本町への新たな人の流れを創出する。

事業費	補助額	ふるさと応援基金	実質負担額
1,990万円	845万円	1,145万円	0円



サテライトオフィス(阿蘇096区内)

町民の声



甲斐 信一さん
(草部・社倉)

私は現在熊本大学の法学部で、高森のような人口減少と少子高齢化が進む地域の課題、またその解決に向けた事例などを専門に勉強しています。

進学するきっかけとなったのは、小中学校のころの環境にあったと思います。私は小学校2年生の時に福岡から高森東小学校（現：高森東学園）に転校し、当時は慣れなかった田舎の環境に反発することもありました。しかし学校の先生や保護者の方々をはじめ、さらに草部の地域の方々为学校や祭りなどの行事で、まるでわが子のように自分と接してくださり、高森という地域がかけがえのないものになりました。

中学時代ではICTの利活用として、タブレットやパソコン端末を取り入れた情報処理技術の醸成や、中学生が高森の政策を考え提案する「高森子ども議会」など、子どもたちへの教育に町長をはじめとして町が力を入れて取り組んでいただき、自分の身についたことが大学生の今になって実感しています。進学した自分の先輩や後輩についても、最終的には高森で働きたいという声は多く聞きます。故郷への「誇り」を持てた自分たちの世代が、ここまで育ててくれた地域の方々や町のために何ができるのか考え、これからも勉学に努めていきます。

高森町に帰って9年になります。それまでは、仕事の関係で約30年熊本市内に住んでいました。

私は大学職員でした。39年に亘った仕事の一つに文部科学省への大学院や学部・学科の設置認可申請の業務があります。大学の場合、設置認可の許認可権は文部科学省にあります。私たちスタッフが作成した厚さ20cm程の申請書類を風呂敷に包み、私は事前相談や本申請で幾度も文部科学省に足を運びました。

申請にあたって私は学校教育法や同施行規則・大学設置基準など関係法規を寝る間を惜しんで勉強しました。このときの経験が今でも大変役に立っています。後年には、卒業予定者の教員免許状授与申請の仕事も担当しました。こちらは熊本県教育庁が所管ですが、これらの仕事を通して大学職員としての神髓を学ぶことができ、私にとって貴重な経験となりました。

現在、私は高森中学校において先生方の事務のお手伝いをしながら生徒の皆さんから元気を貰う日々を過ごしています。

さて、私が町政に望むことを2点述べます。

一つは観光立町についてです。2年後の南阿蘇鉄道の復旧開通とコロナ後を見据えて、観光振興の取り組みを望みます。例えば、通過型から脱却し滞在型の観光地に町を転換させることです。高森・竹田、高千穂間の県境を越えての人の移動を踏まえ、宿泊客増に資する具体的な誘客策を検討すべきと考えます。

二つ目は町教育委員会で編纂が進められている「新高森町史」についてです。前町史には、災害史についての記述がほとんどみられませんでしたので、今回はぜひ掲載していただきたいというお願いです。新町史の完成を私のみならず、町内の友人や遠く宮城県在住の親戚なども心待ちにしています。



二子石 勝範さん
(高森・昭和南)

高森町議会総務文教常任委員会が 「高森東学園義務教育学校」を 視察訪問しました

5月28日



高森東学園義務教育学校は平成29年4月1日からスタートし今年で5年目を迎えます。当日は、佐藤教育長、榎田校長先生から設立の経緯や学園の概要・現状を詳しく説明していただきました。

学園の児童生徒47名は、地域の方々に可愛がっていただきながら健やかにのびのびと学園生活を送っている現状を知ることができて、とても有意義な研修でした。

(総務文教常任委員会委員長 芹口 誓彰)

義務教育学校とは

小中一貫教育を行う、新たな学校の種類として制度化された学校で小学校・中学校の区別がなく学年の呼び方は、1年生・2年生・・・7年生・8年生・9年生となる。

1～6年生は義務教育学校「前期課程」 7～9年生は「後期課程」と位置づけされている。

ICT機器を活用した授業とは

ICT機器は、児童生徒が21世紀型スキルを身に付けていくために学力向上、たかもり型学習充実のための道具であり、目的に応じたツールとして休校中のオンライン授業欠席児童生徒へのオンライン支援・授業以外でのオンラインを活用した取組みなど。



編集後記

コロナワクチン接種も終盤になり、大人は少し安心していますが若い世代や子どもは、不安な夏を過ごしているのではないのでしょうか。

オリンピックも無観客で始まり、テレビでの観戦ばかりでは盛り上がり欠けているのでは。

議員も研修・勉強会が少しずつ始まり皆さんへの、報告・懇談を早く行うよう準備を進めているところです。

この様な状況下ではありますが、議会に対して意見・感想など掲載する事は出来ます。ぜひ、ご一報ください。 広報委員長 牛嶋津世志

議会広報特別委員会

議長 佐伯 金也(発行責任者)
委員長 牛嶋津世志 委員 津留 智幸
副委員長 後藤 清治 委員 後藤 巖

